記載例 1
（一般向け）

○記載に当たっては、ボールペン又は万年筆（黒インクに限る）で記入して下さい。
○記入内容を訂正する場合は、訂正する部分を二重線で抹消し、正しいものを記入して下さい。（訂正印不要）
○「受験整理表」の各区分の「コード番号表」は受験願書の裏面にも記載しています。
○「記載例2（会計専門職大学院修了者（見込者）向け）」が裏面にあります。

平成22年　公認会計士試験受験願書
（第Ⅰ回短答式試験用）

受験番号
関東　財務局／財務支局／総合事務局　※第　　号

番号は記入しないで下さい。

19,500円分の収入印紙を重ならないように貼って下さい。

「氏名」及び「生年月日」は、**戸籍どおり正確に、誰でも分かるような字でていねいに**記入して下さい。（受験願書に記載した氏名と添付書類（免除通知書等のコピー）の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付して下さい。）

収入印紙貼付
19,500円（消印しないこと）
10,000円　4,000円
5,000円　500円

平成21年 9 月 4 日

公認会計士・監査審査会会長　殿

平成22年　公認会計士試験（第Ⅰ回短答式試験）を受験したいので申込みます。

郵送による「**提出日**」を記入して下さい。

「**提出日**」現在の年齢を記入して下さい。

ふりがな	かい けい　た ろう	生年月日		現住所	〒 ○○○－○○○○ 東京都千代田区霞が関○－○－○ ○○アパート１０１号 TEL（自宅） 00－0000－0000 （携帯） 000－0000－0000
氏名	会計　太郎	明治 大正 [✓ 昭和] 平成 50 年 9 月 18 日 （年齢 33 才）			
ふりがな					
旧姓	（改姓年月　　年　　月）	性別	[✓ 男] ・ 女	緊急連絡先	〔上記の現住所欄の電話番号以外で緊急の場合等の連絡先（電話番号）を記入し、ない場合は「なし」を○で囲むこと。〕 （勤務先・[✓ 帰省先]・その他・なし）　（TEL　000－000－0000　）

〔旧姓欄は、願書に記載した氏名と添付書類の氏名が異なる場合のみ記入すること。〕

「受験票」、「合格証書」等の**郵便物が確実に到着する住所**を、都道府県名を省略するなどして、**40文字以内（濁点、ハイフン等も1文字）で記入**して下さい。（**郵便番号**も必ず記入して下さい。）
また、「TEL」は受験願書の記載事項等について取り急ぎ照会する必要がある場合に、**確実に連絡が取れる電話番号**を記入して下さい。自宅の電話番号に加えて、携帯電話がある場合には**携帯の電話番号も記入**願います。

本人の連絡先以外の緊急連絡先を必ず記入して下さい。（「現住所」欄の「TEL」以外に緊急連絡先がない場合には、「なし」を○で囲んで下さい。）

短答式試験免除申請
短答式試験の一部科目について免除を申請します。
氏　名

論文式試験免除申請
論文式試験の一部科目について免除を申請します。
氏　名

＊いずれかを必ずチェックして下さい。
☑ 平成21年論文式試験を受験していない。
☐ 平成21年論文式試験を受験しており、合格した場合は本願書を取り下げる。

（注1）短答式試験の全科目免除者及び旧第2次試験合格者等の短答式試験みなし合格者は、第Ⅰ回短答式試験用の受験願書は提出できません。第Ⅱ回短答式試験用の受験願書により出願して下さい。
（注2）本願書では、第Ⅱ回短答式試験には出願できません。
（注3）受験願書等に記載等された個人情報は、公認会計士試験の実施及び統計目的以外に使用しませんが、合格者の個人情報については、公認会計士となるための手続きにおける本人確認のために日本公認会計士協会及び内閣総理大臣の認定する実務補習団体等へ提供するほか、当局による意識調査のためのアンケートに使用することがあります。

記入しないで下さい。

受験整理表（別添記載例を参照して記入すること）

年		※受験番号								②氏　名（カタカナ）												
		①受験局								〔カタカナにより左詰めで書くこと。また、姓と名の間は1字あけ、濁点、半濁点は1字とすること。〕												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
2	2	0	1	1						カ	イ	ケ	イ		タ	ロ	ウ					

							③生年月日							④性別	⑤職業		⑥学歴		⑦論文式試験選択科目			
							年号	年		月		日							経営学	経済学	民法	統計学
24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
							3	5	0	0	9	1	8	1	0	4	0	5		1		

免除項目（短答式試験）

	財務会計論		管理会計論		監査論		企業法	
⑧免除等を受ける科目（短答式）	47		48		49		50	
⑨免除等要件	51	52	53	54	55	56	57	58

免除項目（論文式試験）

	会計学		監査論		企業法		租税法		選択科目							
									経営学		経済学		民法		統計学	
⑩免除を受ける科目（論文式）	59		60		61		62		63		64		65		66	
⑪免除要件	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82

免除通知書番号等

⑫旧第２次試験合格証書番号（会計士補等）						⑬短答式試験合格通知書番号（平成20年以降合格分）						⑭論文式試験一部科目免除資格通知書番号その1（平成21年分）						⑯その他の免除通知書番号					
83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	107	108	109	110	111	112

⑮論文式試験一部科目免除資格通知書番号その2（平成20年分）					
101	102	103	104	105	106

（注1）※は、記入しないで下さい。
（注2）⑭～⑯に該当する場合は免除通知書等のコピーの添付が必要です。

平成21年論文式試験の結果、論文式試験の一部科目免除資格取得の通知を受けた場合には、第Ⅱ回短答式試験受験願書受付締切日（平成22年２月26日（金））までの間に、受験願書補正願に必要書類（受験案内P.18 10.その他留意事項 参照）を添付し、受験願書提出先の財務局理財課等へ郵送することにより、当該科目の免除を受けることができます。

③生年月日区分について（年号）
（番号31）

1	明治
2	大正
3	昭和
4	平成

④性別区分について
（番号38）

1	男性
2	女性

⑥学歴区分について
（番号41・42）

大学院修了（02を除く）（見込者含む）	0	1
会計専門職大学院修了（見込者含む）	0	2
大学院在学中（04を除く）	0	3
会計専門職大学院在学中	0	4
大学（短大含む）卒業（見込者含む）	0	5
大学（短大含む）在学中	0	6
高校卒業（見込者・大学中退者を含む）	0	7
その他	0	8

＊「修了」又は「卒業」には、平成21年 9 月に「修了」又は「卒業」見込の者を含む。

⑦論文式選択科目区分について
（番号43～46）

例：経済学を選択の場合

経営学	経済学	民法	統計学
43	44	45	46
	1		

＊選択する科目に「1」を記入すること。
選択科目の免除を受ける場合であっても必ず記入すること。

⑤職業区分について
（番号39・40）

			例
会計士補	0	1	会計士補（02に該当しても01）
監査法人・会計事務所勤務（01・03を除く）	0	2	監査法人、個人会計事務所、税理士事務所に従事（会計士補・税理士を除く）
税理士	0	3	税理士（02に該当しても03）
会社員	0	4	民間企業等に従事
公務員（06を除く）	0	5	国家公務員、地方公務員（教員を除く）
教員	0	6	学校教育法による学校の教員、教授（05に該当しても06）
教育・学習支援（06を除く）	0	7	専修学校、受験予備校の講師（教員を除く）
学生	0	8	学校教育法による学校の生徒、学生等
専修学校・各種学校受講生	0	9	専修学校生、受験予備校生
無職	1	0	無職、パート等の者
その他	1	1	個人会計事務所を除く自営業（農業等）

＊非常勤職員、嘱託職員、派遣社員、契約社員等は、10（無職）以外の勤務する職業区分を記入すること。
（注）「提出日」現在の職業を記入して下さい。

「受験願書（控）」、「写真票」、「受験票」についても必要事項をもれなく記入して下さい。
（「受験票」の裏面も記入して下さい。）